

事務事業マネジメントシート(平成24年度実績と平成25年度計画)

平成26年 1月14日 更新

事務事業名		交通安全協会活動運営支援事業				☐ マニフェスト関連 ☐ 全庁横断課題関連 ☐ 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	1	人々が安全に安心して暮らせるまちづくり			所属部	総務部	課長名	青木洋治
	施策	3	交通安全対策の推進			所属課	総務課	担当者名	小山可愛
	基本事業	9	交通安全意識の高揚			所属班	交通防災班	(内線)	1215
予算科目		会計一般	款2	項1	目3	事業連番10037	法令根拠	大津地区交通安全協会合志支部事業補助金交付要綱 成果優先度評価結果 : ③ コスト削減優先度評価結果 : ⑪	
終了、開始年度		☐ 24年度で終了 ☐ 24年度から開始				事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 39 年度) ☐ 期間限定複数年度 (年度)		

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】	大津地区交通安全協会に所属する同協会合志支部の活動を支援する事業である。 増加する交通事故の抑止と、交通安全活動の啓発及び交通安全運動の推進に寄与することを目的に事業が開始された。 交通安全協会加入数が減少傾向にあるため加入促進を行う。
(開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	
【業務の流れ】	負担金支払い、役員会開催通知、役員会開催、総会開催通知、総会開催、補助金交付、各種啓発活動計画、活動実施
【主な予算費目】	・負担金、補助金・旅費
【意見や要望】	特になし
関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1)事務事業の目的と指標		新規・拡充区分	
①手段(主な活動) 24年度実績(24年度に行った主な活動)(DO)		25年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)	
・補補助金の支給。 ・新入学児童への啓発用品の配布 ・大津地区交通安全協会の総会への出席。 ・大津地区交通安全協会合志支部総会の開催 ・その他協会主催の行事へ参加。		・補補助金の支給。 ・新入学児童への啓発用品の配布 ・大津地区交通安全協会の総会への出席。 ・大津地区交通安全協会合志支部総会の開催 ・その他協会主催の行事へ参加。	
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)	予算の主な増減の理由	
⇒ア 協会主催行事への参加回数	回	人口増加による負担金の増	
⇒イ			
②対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	(単位)	②対象指標(対象の大きさを表す指標)	
・大津地区交通安全協会	人	⇒ア 支部役員数	
・大津地区交通安全協会合志支部		⇒イ	
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	(単位)	③成果指標(意図の達成度を表す指標)	
目的に沿った活動及び運営ができる。	団体	⇒ア 交通安全教室を開催している団体数	
⇒イ		⇒イ	
*③成果指標設定の理由と25年度目標値設定の根拠			総トータルコスト 全体計画 ～ 年度
交通安全の推進を図るためには、交通安全教室の開催回数が市民の意識向上につながる。			0

(2)各指標・総事業費の推移		単位	22年度 実績(決算)	23年度 実績(決算)	24年度 目標(当初予算)	24年度 実績(決算)	25年度 目標(当初予算)	26年度 予定	27年度 見込	28年度 見込
①活動指標	ア 回		18	20	15	21	15	15	15	15
	イ									
②対象指標	ア 人		18	18	18	18	19	19	20	21
	イ									
③成果指標	ア 団体		82	85	85	71	85	85	85	85
	イ									
投 入 費 用 量	財 源 内 訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
		一般財源	千円	2,491	2,542	2,582	2,582	2,659	2,600	2,600
	(A)事業費計	(A)事業費計	千円	2,491	2,542	2,582	2,582	2,659	2,600	2,600
		(A)のうち指定経費	千円	2,006	2,057	2,097	2,097	2,158	2,100	2,100
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち臨時職員	千円							
人 件 費	正規職員従事人数	人	3	2	3	2	3	3	3	3
	延べ業務時間	時間	210	110	210	400	210	210	210	210
	(B)人件費計	千円	865	444	847	1,628	847	847	847	847
トータルコスト(A)+(B)		千円	3,356	2,986	3,429	4,210	3,506	3,447	3,447	3,447

事務事業名	交通安全協会活動運営支援事業	所属部	総務部	所属課	総務課
-------	----------------	-----	-----	-----	-----

2 評価の部（SEE）

※原則は24年度の事後評価、ただし複数年度事業は24年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①24年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	☐ 達成した 主催事業については目標を達成したが、交通安全教室実施団体については達成しなかった。 ☒ 達成しなかった ⇒ 【原因】
	②25年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	☒ 目標達成見込みあり ⇒ 【理由】 啓発と周知により、市民の交通安全意識を高めることにより、交通安全教室実施団体を増加させる余地はある。 ☐ 目標達成は厳しい ⇒ 【理由と対策】
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになっていないか？	☒ 向上余地がある ⇒ 【理由】 交通安全教室や啓発活動を繰り返し続けることにより、市民の安全意識のさらなる向上が期待できる。 ☐ 向上余地がない ⇒ 【理由】
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	☐ 他に手段がある（具体的な手段、事務事業） ☐ 統廃合・連携ができる ⇒ 【理由】 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒ 【理由】 ☒ 他に手段がない ⇒ 【理由】 協会の活動を支援するのは、本事業のみである。
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？（仕様や工法の適正化、住民の協力など）	☐ 削減余地がある ⇒ 【理由】 ・補助金大津地区交通安全協会合志支部事業補助金交付要綱により補助対象経費が規定されており、協会の運営に必要な経費だけの補助である。 ・負担金については、大津地区交通安全協会の算定によるものであり、削減できない。 ☒ 削減余地がない ⇒ 【理由】
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？（アウトソーシングなど）	☐ 削減余地がある ⇒ 【理由】 旅費、負担金、補助金のみで、人件費は計上していない。 ☒ 削減余地がない ⇒ 【理由】
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	☐ 見直し余地がある ⇒ 【理由】 全市民を対象とした交通安全の推進を図るための支援業務であり、公平である。 ☒ 公平・公正である ⇒ 【理由】
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	☐ 見直し余地がある ⇒ 【理由】 市民を対象とした協会の活動（交通安全教室等）を支援するものは行政の責務で妥当である。 ☒ 役割分担は適正である ⇒ 【理由】

3 評価結果の総括（SEE） ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

交通事故件数は減少傾向にある。
交通安全教室については、今後も制度の周知に努める。
また、各種啓発活動も工夫を凝らしながら継続していく。

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（PLAN）

</